

健康保健法案特別委員會議事速記録第三號

大正十一年三月二十三日(木曜日)午後一時四十七分開會
○委員長(子爵片桐貞夫君) ソレデハ開會致シマス、前回
ニ續キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○金杉英五郎君 先ヅ一ツ承リタイコトハ、工業界ヲ代表
シテ居ルト稱スベキ工業俱樂部カラ、案ガ一昨日廻リテ來テ
居ル、當局者モ定メテ御覽ニナタト思フ、此中ニモ賛成シ
難キ點モアリマスルガ、又必要ナ修正デアリ又削除デア
ルト考ヘラレル點モアルヤウデアリマスガ、此點ニ付イテ當
局者ハドウ云フ御考デゴザイマスカ、承テ置キタイト思ヒ
マス

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答申シマスガ、此第二十
條ノ任意繼續加入ノ規定ヲ置イテ置キタルコトガ往々此
勞働者ガ解雇サレタ場合ニ因リ、斯ウ云フヤウニ承テ居
タノデゴザイマスガ、此規定ハ加入ヲ致シマシタカラト申
シマシテ、病氣ニ罹リタトハ、或ハ怪我ヲシタト云フ場合ノ外
ハ、手當ヲ支給スルコトハナイノデゴザイマスデ、唯加入シ
タト云フデケデ、別段ニ本人ノ生活ノ補助ト云フ譯ニモナ
ラヌノデゴザイマス、ノミナラズ多クハ、斯ウ云フ場合ニ加
入イタシマスノハ、保險料ノ金額ヲ本人ガ負擔イタシマシ
テ加入スルコトデアリマスカラ、恐ラクハ弱者デナケレ
バ、入ルヤウナコトハナカラウカト思ヒマス、斯ウ云フ、其
解雇セラレタ勞働者ガ依然事業場ニ殘留シテ、不都合ナ場
合ガ多カラウト云フコトハ、ドウモ實ハ解シキコトと思フ
ノデゴザイマス、若シ斯ウ云フ考ガ其事業場ノ所在地ヲ去
ラズニ、或ハ一種ノ運動ヲヤルト云フ事デゴザイマスレバ
兎ニ角、保險料ノ金額ヲ拂テ居ル位ノ者デアリマスカラ、
別段ハ加入シルシナイニ拘ラズ、若シサウ云フ考ガアル
トシマスレバ、之ニ關係ナクサウ云フコトニ從事シハセヌ
カト思ハレル、ドウモ此點ハ茲ニ御心配ニナッテ居ルヤウナ、
餘リ關係ガナイヤウニ思ハレルノデアリマス、元來此規定
ハ兎ニ角一年ニ付テ半年間、保險料ヲ拂テ居リマシタ者
ガ解雇セラレタ、其爲ニ資格ヲ喪失シテ、翌日カラ病氣ニ罹
ラズモ、モウ保險料ヲ掛ケ込メヌト云フコトニナルコトハ、
如何ニモ氣ノ毒ナ状態デアリマスシ、サウ云フモノハ兎ニ
角自分デ保險料ノ金額ヲ拂テ、尙ホ被保險者ニナッテ居
タイト云フコトデアリマスレバ、之ヲ認メマス方ガ寧ロ穩
當デハナイカト思ヒマス、ノミナラズサウ云フ場合ニ、加入
デモ進ンデシヤウト思フ考ナラバ、恐ラク弱者デアラウ
ト思ヒマスガ、之ヲ無制限ニ認メテ置クト云フコトニナリ

マスレバ、保險ノ基礎ヲ危クスルコトニナラウト思ヒマス
カラ、之ヲ例ヘバ一定ノ期間ニ限定シテ、其期間認メルト云
フ事ニ致シマシタ譯デゴザイマス、從テ此第二十條ノ削除
セネバナラスト仰セラレテ、御心配ニナッテ居ル原因ハ、殆
ド杞憂ニ過ギヌ事デハナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居ル
デアリマス、次ニ傷病手当金ノ一日ニ付テ、百分ノ六十ヲ百
分ノ五十ニシタイト云フヤウナ、御考ヘガアルヤウデアリマ
スガ、是ハ段々日本ノ工場ナリ、鑛山ナリ、居リマスル勞
働者ノ生計ノ状態ヲ調査イタシテ、實ハ之ヲ生活ノ最低限
度ノ必要ナル費用ト云フモノヲ認メマシタガ故ニ、斯様ナ
規定ヲ設ケマシタ、段々外國等ニ於キマシテハ、近頃ハ其手
當ノ標準ガ段々高クナリツツアリヤウナ、傾向ヲ持ッテ居ル
ノデアリマス、ノミナラズ又一方ニ於キマシテハ、現在ノ此
保險ハ、御承知ノ通り業務上ノ災害疾病、或ハ業務外ノ災害
疾病ヲ一總ニ合セテ居リマスカラ、此業務上ノ場合ニ於キ
マシテハ、工場主若クハ鑛業主、事業主ノ單獨責任ヲ以テ百
分ノ五十ト云フモノヲ、其期間給與セネバナラスト云フ事
ニナッテ居リマス、此額モ必ズシモドウモ從來ノ例ニ依リマ
シテモ十分と思フ、テ居リマセヌ、併ナガラ現在此額ノ單獨
責任ヲ以テ、増加シテ參リマス事ハ、是ハ餘程事業上ノ影響
モ考ヘネバナリマセヌノデ、今回此保險、所謂其危險ヲ分擔
シテ、保險制ニ致シマスルニ付キマシテハ、其事業主單獨
責任ト致シマシテモ、餘程輕クナル譯デアリマスカラ、斯様
ニ定メマシタヤウナ譯デアリマス、要スルニ此問題ハ高イ
トカ、低イトカ云フ事ハ、結局此標準方針ノ決メ方ト云フモ
ノ如何ニ依テ、餘程負擔ノ輕重ト云フモノガ出テ來ルノデ
アリマス、是等ハ當局ト致シマシテハ、無論實際ノ事情若ク
ハ、又地方地方ノ事情、或ハ事業ノ種類等ノ事情、ソレモ考
慮イタシマシテ、是等ノ標準方針ノ決メ方ト云フモノヲ、定
メナケレバナラスト云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、其點ニ於
テ十分ニ注意ヲ拂ヘバ、サマデ御心配ニナルヤウナ結果ヲ
見ルヤウナ事ハナカラウト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリ
マス、ソレカラ次ニ此被保險者ガ負擔イタシマスル、保險料
ガ百分ノ三ヲ超エタ場合ニハ、其超過部分ハ事業主ノ負擔
ト致シテアリマスノヲ、國家ガ負擔スルト云フ風ニ改正シ
タイト云フヤウナ、御希望ノヤウデゴザイマスガ、元來此今
回作リマシタ所ノ保險制ハ、昨日モ段々ト中上ガマシタヤ
ウニ、事後ノ救済ノミヲ目的トシテ居ルノデハゴザイマセ
ヌデ、事前ノ豫防ニモ十分力ヲ用キタイ、又此事前ノ豫防ト

云フ事ニカテ盡スト云フコトガ、必要ナコトト考ヘテ居ル
次第デゴザイマス、左様ナ譯デゴザイマスカラ、此事故ガ多
ウゴザイマスレバ、保險料ノ負擔ガ多ク、又事故ガ少ナケレ
バ、亦保險料ノ負擔ガ少ナクナルヤウニ立案イタシテ居
マスニ依テ初メ事業主トシテモ、又勞働者ト致シマシ
テモ、十分自分等ノ相互ノ自省心、責任ノ觀念等ヲ喚起イ
タシマシテ、災害ノ豫防デアリマスルカ、或ハ疾病ノ豫防ト云
フヤウナ事ニ、十分力ヲ用キル様ニナラウト思フノデアリ
マス、然ルニ之ヲ、若シ茲ニ只今中上ガマシタヤウナ超過部
分ハ、國家ノ負擔デアルト云フコトニ致シマシタナラバ、事
業主トシテモ幾ラ怪我人ガ出來ヤウガ、病人ガ出來ヤウガ、
アトハ政府ノ負擔ヲ以テ始メテ付ケテ呉レルカラ、何等豫防
的施設ヲスル必要ガナシ、又衛生的設備ノ改善ヲスル必要
ガナイ、勞働者ト致シテモ、何モ自分デサウ注意スル必要ガ
無イト云フヤウナ、寧ロ自省心ト云フヤウナ、責任上ノ點ヲ
アラウト思フノデゴザイマス、斯様ナコトニナリマスシテハ、
元來、ソレコソ此保險制ヲ施行シテ、寧ロ色々惱ケルト云フ
ヤウナ、弊害ガ餘計出テ來ルヤウナ、虞ガアルノデアリマス、
大體此保險法ヲ制定イタシマスニ付キマシテ、諸般ノ調査
ヲ重ネマシタ結果、先ヅ日本ノ全體ノ鑛山、工場、推シナベ
テ危險災害等ノ罹災ノ率ヲ平均シテ見マスルト、先ヅ大體
ト致シマシテ、賃金ノ百分ノ四位ノ程度、寧ロソレ以下ニナ
ルノデゴザイマスガ、之ヲ事業主ト從業者ガ折半シテ、負擔
スルト云フコトニナルノデアリマスカラ、先ヅ大體、平均百
分ノ二ツコノニナラウト思ヒマス、從テ此百分ノ三ヲ超
ヘマスヤウナ場合ハ、先ヅサウ多クハナカラウト考ヘルノ
デアリマス、併シ若シ斯ウ云フモノガアルトシマスレバ、其
事業ノ性質ガ甚ダ危險ナモノデアアルカ、或ハ有害ナモノデ
アルカ、又ハ其作業イタシテ居リマス工場ナリ、事業場ナリ
ガ、非衛生デアルト云フコトニ起因スルモノト考ヘラレル、
斯ウ云フ場合ニ生ジマスル危險ノ大部分ハ、恐ラク業務上
ノ關係カラ生ズルノガ多カラウト思ヒマス、業務上ノ關係
カラ生ズルノガ多カラウト思ヒマス、業務上ノ關係カラ發
生シテ參リマスモノハ、當然工場法等ニ依リマシテ、元來事
業主ノ責任トシテ、之ヲ改良シテ行カケレバナラヌモノ
デアルト考ヘマス、此部分ヲ國庫ニ負擔サスト云フコトハ、
所謂國民ノ全般ニ其負擔ヲ轉嫁スルト云フコトニナリマシ
テ、元來事業ノ性質、其他カラ考ヘマシテ、條理ニ合ハヌコ

トト思ヒマス、要スルニ斯カル危険ナル作業、或ハ疾病ノ多
イ場所ニ付キマシテハ衛生ノ設備ヲ完成スルコトカ、或ハ危
険豫防ノ施設ヲシテ、危険ヲ避ケルヤウニスルコトカ、事業
主ノ爲ニモ、又労働者ノ爲ニモ、利益デアル、御互ニサウ云フ
風ニ、自ラ戒メテ此危険ヲ阻止シテ行クコト云フ事ガ、本法ヲ
制定イタシマシタ、骨子デゴザイマス、斯様ナ次第デゴザイ
マスカラ、茲ニ希望セラレマシヤウナ、修正ト云フモノハ、
是ハ當局トシテハ甚ダ困ル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザ
イマス、大體修正意見トシテ、仄カニ承テ居リマス點ニ對
シマスル考ハ、只今申上ゲマシタヤウナ譯デアリマス、左様
ニ御諒承テ願ヒタイ

○男爵武井守正君 此三條ノ標準報酬ト云フコトガチヨ
ト分ラナイデスガ、勅令ヲ以テ定メルト云フコトデスガ、之
ヲ月額定メルカ日額定メルカ分ラヌ、先刻坐談中ニ御
話ガアリ、過日藤本君ガ一例ヲ舉ゲテ御話ニナッタノデ、私
モサウ云フモノカト承知シタヤウナ譯デアリマス、一ツノ
仕事ヲ幾ラトシテ請負ッテ、ソレヲ日ニ割當テテ見ルト、三
圓ニモ、五圓ニモナル、月額定見レバ、半月働イタモノヲ以
テ報酬ト定メルナラ宜イガ、若シソレヲ三十日働イタトス
レバ、倍加シテ大變高イモノニナル、勅令ハドウ云フコトニ
定メルカ、日額定メルカ、又ハ月額定メルカト云フコト
ガ、今日御腹案ガアルトシマスレバ、勅令ニ讓ラヌデモ、コ
コヘ書イテシマヘバ宜イト思フ、ナゼノヲ月額、日額ト云フ
コトヲ現サズシテ、勅令ニ讓ッテ置カレタト云フコトガ分ラ
ヌノデスカ、其趣旨ヲ承リタイ

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答申シマスガ、此標準報
酬ニ關シマスルコトヲ勅令ニ讓リマシタノハ、色々ノ事態
ノ違ヒ、其他ニ付テ大分考慮ヲ要スル點ガ多クアルノデア
リマシテ、是ノ定メ方ハ、餘程實際ノ事業ニ合フヤウニ致シ
マセヌト、先程カラ大分御心配ニナルヤウナ事情モアルノ
デアリマスカラ、成ルベク實際ノ事情ニ適合スルヤウニ極
メタイト、而シテ之ヲ太體決メマスニモ、當局トシテハ凡ソ
ノ腹案モ持ッテ居リマス、先ツ殆ド此報酬ヲ得マスニ狀態ガ
現ニ一日ニ幾ラト云フ風ニ、日額定決メテ居ルノモアリマス
ルシ、ソレカラ此間中カラ御話ノアリマスヤウニ、或ル仕事
ノ請負ニ依テ、決メテ居ルノモアリマス、種々ゴザイマスル
カラ、ソレ等ニ適合イタシマスヤウニ、之ヲ決メテ參リタイ
ト考ヘテ居リマスノデゴザイマス、就テハ勿論一日幾ラニ
當ルト云フヤウニ、決メタイト考ヘテ居リマスノデ、ソレモ
或ハ月ノ三十日デ割ルガ宜シイカ、或ハ公休日ヲ除イタ限
度デ割ルガ宜シイカ、色々事業ノ性質、種類ノ如何ニ依リマ
シテ、從來ノ慣行等モ參酌スル必要ガアルト考ヘテ居リマ
スノデ、是等ノ詳細ナルコトヲ決メマス必要上、之ヲ勅令ニ

讓テ居リマス次第デゴザイマス

○男爵武井守正君 此ニ算定法ガ學ッテ居ナイモノデスカ
ラ、工場主ガ非常ニ心配ラシテ居ルグラウト思フノデスガ、
既ニ過日藤本君モ言ハレタヤウデスガ、サウ云フ請負ノデ、
二週間トカ、十日トカ、月ニ働ク者ニ對シマシテハ、ドウシ
テ月額デ計算シナクテハイカマイト私ハ思フ、今御話ニ
ナルノハ即チ日當行クノデスカラ、ソレハ何デモナイノ
デアリマスガ、請負ノ如キハ半月働イテハ半月遊ブ、或ハ十
日働イテハ十日遊ブト云フコトニナッテ、ドウシテ月額ヲ
以テシナケレバ、公平ヲ得ナイグラウト思フ、ソレヲ能ク調
ベテカラ勅令デ決メルノダト仰シヤレバソレ迄デスガ、ソ
レデハ工場主ガ非常ニ不安ノ念ヲ抱クグラウト思フ

○政府委員(膳桂之助君) 只今ノ御質問デゴザイマスル
ガ、先程モ申述ベマスルヤウニ、大體各事業ニ適切ニナル様
ニ、決シテ其一日、或ル一日一日ノ、非常ニ高イ收入ヲ標
準トシテ決メヤウト云フ趣旨デハゴザイマセヌ、大體斯ヤ
ウニシテ決メル方ガ、公平ニシテ弊害ガナイト云フ點ハ、假
ニ日給ヲ中心トシテ決メルト云フノデアリマセヌ、各種ノ
業態ニ應ジマシテ適切ニ定メ方ヲスル、サウ云フ趣旨デ申
上ゲタヤウナ次第デアリマス

○男爵武井守正君 私幾ラ考ヘテモ、日額ト月額ト二ツシ
カナイト思フノデスカ、ドウ云フ業務ニ對シテ色々ナルト
云フコトカ分ラヌ、ドウシテモ日額ト月額トシカナイト思
フ、サスレバ日當ノ如キモノハ、日額定宜カラウシ、請負ノ
如キハ月額定シタラバ、公平ヲ得ルグラウト思フ、業務ニ依
テ色々違フト云フケレドモ、違ヒヤウガナイ、日額ト月額ト
シカナイノデスカラ……

○政府委員(膳桂之助君) 尙ホ重ネテ申述ベノ足リナイ點
ヲ申シマス、日額デモ月額デモ、結局同ジヤウニナルト云フ
意味合デ申上ゲマシタノハ、大體過去ノ、或ル労働シタ月ノ
其月數、全額ナラ全額ト云フ事ヲ見ル、ソレヲバ三十日労働
シタト見ルノガ宜イ、或ハ公休日ヲ除イタ日數ヲ見ルノガ
宜イカ、ト云フコトニ付テハ、各労働日數ニ應ジマシテ考ヘ
テ行ク、サウ云フ風ニ、申上ゲタ次第ナンデゴザイマシテ、
結局矢張或ル過去ノ月ノ月額ナラバ月額、數箇月ノ收入ナ
ラバ數箇月ノ收入、一年ノ收入ナラバ、一年ノ收入ト云フコ
トヲ基礎ニイタシマシテ、ソレヲ幾ツニ割ルカト云フコト
ハ、其労働事情其他ニ應ジマシテ適切ナルモノニ定メ方ヲ
シタイ、ソレデ日額ヲ定メタイ、斯ウ云フ趣旨デ申シタノデ
アリマス

○男爵武井守正君 益々私ニハ分ラヌノデアリマス、先日
藤本君ノ質問ニハ炭山デ、コレダケノモノヲ幾ラデ請負
ハス、ソレヲ十日デ掘ッテ行ケバ十日デ儲カッテ仕舞フ、サ

ボッテ居レバ二十日モ掛ルト云フヤウナモノヲ、日額デ計
算スルト三十日ヲラバ、非常ニ高イモノニナル、ソレデハ工
場主ガ立行カヌモノデアル、斯ウ云ハレルノデスカラ、成程
其事ガ事實アルグラウト思フ、サウ云フモノハ例ヘバ十日
働イテ後二十日休ンダノデモ、其十日ノ賃銀ヲ以テ月額ト
定メサヘスレバ宜イ譯デアアル、然ルニ其十日働クニ準ジテ、
三十日ヲ十日ノ働キニ乗ジタナラバ、大變高イモノニナル、
斯ウ云フコトニナルノデスカラ、日當ノ如キモノハ是ハ日
額定宜イ、ソレヲ勅令ニ讓ッテ此算定法ガ分ラヌモノデスカ
ラ、工場主ハ非常ニ心配ヲスルコトデアラウト思フノデス
カラ、茲ニ一項ナリ一條ナリ加ヘテ、其事ヲ明白ニシタラ
バ法文ガ整イヤシナイカト、私ハ斯ウ思フノデスカラ……

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答ヘ申上ゲマス、所謂報
酬ノ支拂方ニ付マシテモ、別ニ日々定額デ決ッテ居ルモノモ
ゴザイマス、又請負ノ性質ヲ有ッテ居リマスモノモゴザ
イマス、又日額ト或ハ出來高トノ所謂配合サレタモノモゴ
ザイマス、サウシテソレガ所謂工場ナリ、鐵山ナリニ於テ
働キマスノ、一箇月ニ實際働キマスル日數ナルモノノ勘
定ガ、大分種々錯綜シテ居ルモノアルノデゴザイマス、ソ
レソレ等ノ事情ヲ十分ニ參酌イタシマシテ、其基礎ヲ定
メマスコトガ、頗ル必要デアラウト思フノデアリマス、ソレデ
サウ云フ複雑シタモノデゴザイマスカラ、ソレ等ノ所謂其
定メ方ヲ、勅令ヲ以テ之ヲ規定シヤウト云フ趣旨デゴザイ
マシテ、勿論ソレ等色々ノ、所謂報酬ト云フモノヲ決メマス
ルノ、大體一日ニ當ル部分ガ幾ラニナルト云フ風ニ決
メマシテ、一日ノ日額幾ラニ當ルト云フコトヲ決メテ見出
シテ、ソレニ依ッテ保險料ヲ徴シタリナドスル、斯ウ云フ趣
意デゴザイマス、ドウゾ左様御思召シテ……

○男爵武井守正君 ドウシテモ、幾ラ承知ラセイト仰シヤ
テモ私ハ解ラナイ、承知ガ出來兼ネルノデアリマスガ、今復
雜デヤトカ、混雜デヤトカ、云フコトヲ仰シヤルノデスカ、
ドウカ例ヲ舉ゲテ御話シ下サルト、私ハ解シ得ラレルカ知
レマセヌガ、錯綜トカ、何トカ云フコトハドウ云フコトナン
デスカ、私ハ今申上ゲタ二ツシカナイト思フ、日當ノモノハ
日當デ行ク、請負ニシテ十日シカ働カナイ、後ノ二十日ハ遊
ンデシマッタ、ソレヲ日額ニ直シテ見ルト、非常ニ高イモノ
ニナル、サウスレバ後二十日ハ非常ニ高イモノニナル、サウ云
フモノハ十日働イタモノヲ、ソレヲ一箇月ニ延バシテ、月額
ニシテ見レバ安イモノニナル、事實働イタモノニ對シテダ
ケヤル譯ニナリマス

○政府委員(男爵四條隆英君) 尙ホ御答ヘ申上ゲマスガ此
標準報酬ニ關シマスルコトハ、詰リ全體ノ報酬ヲ幾等級ニ
モ分ケルガ、最モ適當カト云フコトモ、是ハ十分研究ヲ致ス

必要ガアル問題デアルノゴザイマス、例へバ賃金ヲ最低カラ、最高マデラ或ハ十級ニナストカ、或ハ十五級ニ分ツト云フ様ニ、種々ノ分ケ方ガ出來ル譯デアリマスガ、幅ガ餘リ廣クナリマス、結局或ル部分ニ於テハ、非常ニ實際ノ收入ヨリモ高クナリマシタリ、低クナリマシタリ、色々ノ結果ガ出テ參リマスノデ、サウ云フヤウニ、餘リ高イヤウナ風ニナリマスレバ、色々又弊害モ出テ參リマス、又低キニ過ギマスレバ、今度ハ救済ノ目的ヲ達セスト云フコトモゴザイマス、ソレ等ノ決メ方モ、餘程其業態業態ノ普通ニアリマス賃金ノ幅如何、ソレモ考ヘナケレバナリマセヌ、ソレカラ只今モ御話シニナリマシタヤウニ、色々ノ請負ナリテ、十五日ナラ十五日働イテ、ソレヲ三十日デ割ルノガ實際ニ合フカ、二十五日デ割ルノガ實際ニ合フカ、所謂公休等ヲ除イタモノガ適當デアアルカドウカト云フコトモ、考慮ニ入レナケレバナリマセヌ、是ハ種々ナ關係ヲ考慮ニ入レマシテ決メル必要ガアリマスノデ、之ヲ勅令ニ譲リマシタヤウナ譯合デゴザイマス

○男爵武井守正君 サウスルト十日働イテ、後二十日遊シタト云フノニ對シテハ、ドウ云フ算定ラスルノデアリマスカ
○政府委員(男爵四條隆英君) 只ソレモ一箇月ノ狀態ヲ見マスル、或ハ十日働イテ跡二十日休シテ居タ、或ハ二十日働イテ十日休シテ居タト云フイロノモノガアルト思ヒマス、ソレモ働クベキ仕事ナクシテ働カナイ場合、又働クベキ仕事アリニモ拘ラズ働カナイデ居ルヤウナ場合モアル、其場合ニ依ッテ餘ホド事情ガ違フト思ヒマス、一箇月唯現在ノ事情ノミヲ以テ決メルガ宜シイカ、其前月ノ有様ヲ見テ決メルガ宜シイカ、要スルニ此就業者ノ、先ヅ大體一日凡ソ幾ラノ賃銀ヲ、生活上必要ト致シテ賃銀ヲ取得シテ居ル、其現實ノ事情ヲ見テ決メテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、要スルニ此問題ハ怪我ヲ致シマシタリ、病氣ヲシマシタ場合ニ休業イタシテ、ソレガタメ、勞務ニ服スルコトガ出來ナイタメニ、生活費ノ幾部分ヲ救助シヤウト云フ趣旨デゴザイマスカラ、サウ云フ點ヲ十分ニ注意イタシテ、決メル必要ガアルト思フノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ、唯、今ノ十日働カナイノハドウ決メル、或ハ二十日働カナイノハドウ決メルカ、ト云フ仰セダケデハ一寸ドウ決メルト云フコトハ、申上ガ兼ル次第デゴザイマス、ソレ等ノ點ハ種々業務ノ狀態、其他ヲ考慮ニ入レテ、サウシテ適當ニ是ヲ決メル必要ガアルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○金杉英五郎君 現行法ハ鑛業法、或ハ鑛業法ノ所謂附屬規定ニ依ル共濟會ノヤウナモノハ日額デアリマスカ、月額デアリマスカ是マデドウナッテ居リマス
○政府委員(男爵四條隆英君) 從來ハ日給何日分ト云フコ

トヲ決メテ居リマス、其日給ノ定メ方ハ確カ斯ウ云フコトニナッテ居リマス、定額ニ依リ賃銀ヲ定ムル場合ニ於テハ其賃銀ノ額、稼キ高又ハ就業時間ニ依リ賃銀ヲ定ムル場合ニ於テハ疾病ニ在リテハ診斷ニ依ル、發病ノ日ヲ除ク、發病ノ日明カラザルトキハ診斷前七日ヲ除ク、負傷又ハ即死ニ在リテハ事故發生ノ日ヲ除ク、其前ノ就業三十日分ノ賃銀平均額、但シ就業三十日ニ滿タサルトキハ其賃銀平均ノ平均額トス前二項ノ規定ニ依リテ金額ヲ算出スルコトヲ得サル場合ニ於テハ扶助規則ニ於テ定ムル金額、但シ扶助規則ニ定メナキトキハ地方長官ニ於テ定ムル、斯様ナ規程ヲ設ケテ居リマス、併ナガラ是ハ御承知ノ通り日給幾ラト云フコトヲ土臺ニ置イテ居リマス、此度ノ保險法ニ於テハ、是ハ現實日給デアアリマセヌ、標準日給ト云フ事ニ致シテ居リマスカラ、其點ニ付テ自カラ多少ノヤリ方モ變ヘナケレバナラスト思ヒマス

○金杉英五郎君 詰リ日額ガ原則デスカ
○政府委員(男爵四條隆英君) 現行ノ鑛業法、工場法ハ左様デゴザイマス
○金杉英五郎君 是ガ實況ニ付テハ經驗ノアル横山サンニ伺ヒマス、是マデノ所ハ差支アリマセヌカ
○横山章君 是迄現行法デ差支ヲ感ジテ居ラス、十分グト私ハ思フ

〔委員外議員藤本閑作君發言ノ許可ヲ求ム〕
○委員長(子爵片桐貞央君) 一寸御待チテ願ヒマス、委員ノ御方ノ御質問ハアリマセヌカ
○男爵平野長祥君 只今武井男爵ヨリ御尋ニ對シテ御答ガアリマシタガ、マダ私ニハ少々分ラヌノデ諄ク御問ヲスルヤウデアリマスガ、此標準報酬ヲ算出スル其基礎等ヲ何レニ置イテアルカト云フコトハ、只今御當局ノ御答辯デハ、種種職業ニ依テ、イロ／＼違フト云フ御話デアリマスガ、日額ヨリハ月額ヲ以テ其算定ノ基礎トシテ、月額ヲ平均スル方ガ適當デアアルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、勅令ヲ以テ定メラルルコトニナッテ居リマスガ、其算定ノ基礎ハ何トカ御腹案ガ御アリデハナイカ、無論職業職業ニ依テ違ヒマスケレドモ、勅令デ定メラルル其算定ノ基礎ハ何レニ御持チニナッテ居ルカト云フコトヲ私ハ伺フテ見タイ

○政府委員(男爵四條隆英君) 是等ノ點ハ實ハ餘ホド大事ナコトデゴザイマスルカラ、成ルベク廣イ意見ヲ徵シマシテ決メタイ、斯様ニ土臺考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ大體此標準ヲ以テ……實際ノ報酬額ヲ標準トシテ等級ニ分屬セシメマシテ、等級毎ニ其等級ノ賃銀ハ幾ラ、斯様ニ決メタイト考ヘテ居リマス、ソコデ其等級ニ分屬標準ト致シマスル報酬額ハ兎ニ角現在ニ於テノ腹案デゴザイマスガ、先ヅ

數箇月ノ平均シマシタ月額ヲ先ヅ大體決メマシテ、ソレニ依テ或ル一定ノ作業日數ト申シマスカ、ソレ等ヲ大體幾ラニスルカト云フノハ問題ノ餘地ガゴザイマセヌケレドモ、作業日數ヲ割ッテ、而シテ是ニ實際一日幾ラニ當ルト云フコトヲ出シテ行キタイ……出シテ行タナラバ、ドウカト云フ考ヲ有ッテ居リマス、併ナガラ是ハイロ／＼先程カラ申シマスヤウニ、業務ノ種類ニ依リマシテ賃銀支拂方區々ニナッテ居リマスカラ、ソレ等ノ關係モ明瞭ニ見ナケレバナリマセヌ、例へバ纖維工場デ支拂ッテ居リマス拂ヒ方、機械工場ニ於テヤッテ居リマスノト、イロ／＼違ッタ點モアリマスカラ、ソレ等ニ適合スルヤウニ決メタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 委員外ノ御方ノ御質問ガ大分アルヤウデゴザイマスガ、此際御許シシテ宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(子爵片桐貞央君) ソレデア藤本君ガ先程カラ御待チデアリマスカラ……

○委員外議員(藤本閑作君) 今金杉サンカラ現状ハドンナ具合ダト云フ事ニ付テ、日給標準報酬定メ方ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、此石炭山ハ現行法ノ坑夫勞務扶助規則第二十條ノ第二項ニ規定シテアリマス、是ニ付テ餘ホド苦痛ヲ感ジテ居ルノデアリマス、是ハ此間モ申シマシタ様ニ、作業三十日ト云フノモ、先程カラ段々御話ガアリマシタ通りニ、五日働イテ十日休ム、極端ニ申シマスレバ、一月ノ内ニ十日働イテ二十日休ム、斯ウ云フ様ナ人ハ働ク日數ガ少ナイカラ、石炭ヲ掘リマスル鶴嘴ヲ握ッテ時分ニハナカナカ餘計ニ、一日ノ能率ガ上リマス、從テ所得ガ多イ、十日ト通算シマスルト、其所得ガ多イノデアリマス、事業者ニ取リマスルト、サウ云フ坑夫ガ多イト全體ノ石炭出ガ非常ニ少ナイ、遊ビガ多イ、例へバ一日ニ三噸掘リマスノハ、假ニ上等ナ坑夫ト申シマスレバ、其上等ナ坑夫ガ、一箇月ヲ二十日以上二十五日位働ク人ガ多數居リサヘスレバ、其炭山ノ生産高ハ非常ニ順調ニ行クノデアリマス、其反對デ一箇月十日位働イテ、二十日ハ休ムト云フヤウナ、獲イ坑夫ガ澤山居リマシタナラバ、總體ノ生産高ハ常ニ少ナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ現行ノ二十九條ニ規定シテアル、所謂仕事シタ其實際就業ラシタ日ノ平均ノ所得ニ依テ、何日分ノ扶助ヲ爲スベシト、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、ドウシテモ獲イ坑夫ガ扶助ヲ餘計貰フヤウナ形ニナッテ居ルノデアリマス、眞面目ナ坑夫ハソレニ比較スルト、就業平均所得ガ少ナイカラ扶助額ガ少ナイ算定ナリマス、ソレデ事業主カラ見レバ、偏頗ト云フコトガ現ハレテ來ルカラ、ヨリ

以上ニ眞面目ニ働ク坑夫ニハ仕方ナシニ餘計ナル、ソレガ現在ノ各炭山デ困テ居ル所ノ事情デアリマス、ソレダケヲ申シテ置キマス

○委員外議員(麻生太吉君) 只今藤本君カラ御尋イタシマシタ通り、譬ヘテ中上ゲルト餘程能ク分リマス、一月ノ中ニ、十日働ク者ハ餘程賃銀ガ高ク、之ニ反シテ一箇月ノ中ニ、二十日働ク者ハ從事シマシテ、十日残りマスト云フト、倍ノ十日働ク者ヨリ倍數ノ労働費シテ居リマスカラ、收穫スル所ノ労働賃銀ト云フモノハ少ナクナル、ソレヲ此收入ノ平均ヲ以テ致シマスト云フト、十日ノ方ノ二十日遊シタ方ノ労働者ノ賃銀ノ方ガ餘程高クナル、二十日眞面目ニ働ク者ハ安クナッテ居リマス、之ヲ以テ此標準ノ補助額ガ出來マスルト云フト、非常ニ不公平ニナル、サウスルト情民ヲ獎勵スルト云フ譯ニナリマスカラ、鑛業者ニ取ッテハ何レモ心配シテ居ル、武井男爵カラ御質問ノゴザイマス通リニ、此法案ノ一番必要ナル、労働者ニ必要ト致ス所ハ、是ハ詰リ自分ノ保險料ヲ得ル所ノモノガ一番大切ト譯ニナッテ居ル、ソレガ後ニナルト云フコトハ、ドウモ鑛業者ニシマシテモ了解ニ苦ンデ心配ヲ致シテ居ル、ソレダ右様ノ關係ガアリマスカラ、此標準ヲ如何ニスルカ、又鑛業法ノ如キコトハ、今ノ藤本君カラ御尋シタヤウニ實施シテ居ル、今日工業労働者ニハ此扶助規則ヲ實行シテ居ル、情民ノ方ニ獎勵シテ眞面目ニ働ク方ノ側ニ薄クナル、是ハ甚ダ困テ居ル、又今回重ネテ斯様ナコトヲ、標準ヲ御示シナラヌ、勅令ハ如何ナルコトニナルカ、此保險法案ト云フモノガ出來マシタラ、豫算ガ出來テ居ルト云フ考デアリマス、御差支ゴザイマセネバ、斯ウ云フ目的ヲ以テヤッテ居ルト云フコトヲ御漏シ下サイ

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答ヘ申上ゲマスガ、是ハ現在ノ扶助ノ規定ニ定メテ居リマス、ヤウナモノヲ、定メル考ハナイノデアリマス、是ハ只今御話ノヤウナコトモアリ得ルカト思ヒマス、此度ノ分ハ標準報酬ガ決マリマシテ、ソレニ依リマシテ被保險者モ、自分ガ矢張金ヲ出サナケレバナラヌ、其標準ハ出シマス分モ高クナル、此補助ノ方ハ事業主ノ單獨ノ責任デアリマスカラ、労働者ハ一文も出シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、ノミナラズ今度ノ此保險法ニモ依リマシテハ、兎モ角從業者モ自分ノ懐カラ保險料ノ半分ト云フモノハ出スノデアリマス、ソレガ餘リニ高イ率ニナリマス、御話ノ通り事業主トシテモ給與サレル額モ多額トナリマスレバ、自分ノ出ス金ハ高クナリマス、低キニ過ギマスレバ、出ス金ハ少ナクナルガ實ハ少ナクナリマス、ソレデアリマスカラ、詰リ標準報酬ノ定メ方ト云フモノハ、餘程實際ニ適合シタヤウニ決メナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソコデ成ルベク實際ノ事情等モ參

酌イタシマシテ、先ヅサウ云フ點ニ餘リ弊害ノ出ナイヤウニ、十分ニ注意シテ決メタイト云フコトガ、當局ノ考デゴザイマス、御承知ノ通り、工場法ノ規定ヲ定メマシタ以前ニ、斯ウ云フ制度ト云フモノガ行ハレテ居ラナカッタ、之ヲ行ヒマセヌ結果、行ハレテ居ラナカッタ、即チ何等ノ經驗ノ無イ時代、斯ウ云フ法規ヲ施行イタシマシタ結果、又色々運用上ニ於テ遺憾ノ點ガアルト、當局トシテハ認メテ居リマス、サウ云フ經驗ヲモ十分考ノ中ニ入レマシテ、サウシテ適當ニ之ヲ按排シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、先程カラ中上ゲマシタヤウニ、或ハ實際ニ働キマシタ日數ガ、餘リニ極端ニ少ナイト云フ場合ニハ、又特別ノ考慮ヲ加ヘナケレバナラヌカト云フ必要モアラウト考ヘテ居リマス、ソコデソレ等ノ點ハ成ルベク各方面ノ實際家ノ意見ヲモ徵シマシテ、而シテ適當ニ決メタ方ガ、却テ適切ナル標準報酬ト云フモノヲ定メ得ルダラウ、斯様ニ考ヘマシタ故ニ、之ヲ斯様ニ致シマシタ譯デアリマス

○委員外議員(麻生太吉君) 尙ホ御尋ネ申上ゲマスガ、只今御説明ニ依リマスト、其邊ハ重要ナコトデアルカラ、他日大ニ不公平ガ出來ナイヤウニ、勅令ヲ以テ定メルト云フ事デアラセラレマスルカ、此法案ノ出マスルニ付テハ、唯私共ノ關係シテ居リマス鑛山方面ノコトノミデナクシテ、總テノ全國ノ工業組合……イヤ俱樂部トカ、又其他鑛山講話會トカ、何レノ團體ニ於テモ、非常ニ心配シテ居リマス、心配イタス所ノ趣意ハ何レニアルカト云ヒマス、今日ノ労働者ノ思想ト云フモノハ、誠ニドウモ困リマシタ有様ニナッテ居リマスカラ、是等ノ者ヲ成ルベク紛議ノ出來ナイヤウニシタイト云フコトデ、此邊ハ餘程苦心ヲ致シテ居リマス、又是ハ自分ニ經營シ居リマスカラ、労働者ノ間ノ紛議ハ出來ナイヤウニスルコトハ、當然ノコトデアリマス、餘程努メテ居ル、ソコヘ以テ參リマシテ、又此保險法案ノ如キガ出マシテ、チヨット餘談ニナルヤウナ譯デアリマスガ、此工業俱樂部カラ出テ居リマス二十條ノ如キハ御説明ニ依リマス、ドウモ労働者ガ甚ダ惘然デアルト云フコトデアリマスケレドモ、之ニシマシテモ、更ニアア云フ勅令ヲ御設ケニナッテ居リマスト云フト、其工場ニハ居ラスデ、隣リノ方ニ居リマシテ、色々ノコトヲ目論見マス、之ハ申上ゲナイデスケレドモ、労働者ノ、眞正ノ労働者ト云フ者ハ餘程眞面目ニ働ク、總テ故障ヲ起スト云フヤツハ、ナルベク労働ヲ避ケテ、口先キヤ、筆ノ先キデ生活シ様ト云フ者ガ、其善良ナル労働者ヲ導イテ惡化サセル譯デ、其事ガドウモ法案ニ依リマスト云フト、總テ代人ガ出來テ、眞正ノ眞面目ニナッテ働ク方ノ側ノ方ハ、恩惠ヲ被ルト云フコトハナカク、出來ナイ、工業者ノ立場カラ見マスト云フト、多大ノ資金ヲ投ジテ、多數

人ヲ從事サセテ居リマスカラ、之ニ向ッテ優待スルト云フコトハ、之ハ私ハ申上ゲヌデモ能ク御分リニナル、決シテ之ヲ虐待スルト云フヤウナ事ノナイト云フコトハ、自然ノ事デアリマス、ソコヘ持ッテ行ッテ、又此色々ノ、此法案ノ中ヲ見マスルト云フト、或ハ保險ノ喪失シタ時ニハ、一審ニ、二審ニ、三審トカ判決ヲ以テ之ヲ確定スル、如何ニモ法文トシテハ立派デアルケレドモ、サウ云フコト云フモノガ、實際労働者ト資本主ノ間ニ於テ、出來得ルモノデヤナイ、之等ニシテハナルベクサウ云フコトヲ避ケルヤウニ、之ハ地方ニモ醫者ハ澤山アリマスカラシテ、ソレ等ノ人ガ診テクレバ必ズ分リマス、總テノ事ガナカク、能ク條項ガ出來テ居リマスガ、實際ニ至リマス、先刻武井男爵カラ御質問ニナリマス通リニ、徹底的ニドウ云フコトニナルカト云フコトガ、私等カラ見マスルト甚ダ不安ニ思フノデアリマス、アタタカララハセルト、ソレハ他日安心スルヤウニスルト、斯ウ云フノデアリマスガ、法案ガ出來テナルベク労働者ニ安心ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ重要ナルコトハ、此法案ノ中ニ明記サレルト云フコトガ、一般ノ安心スルコトニナル譯デスナ、ソレデ私共委員デモナイ者ガ、御質問シタリ何カシマスルノハ、實際其業務ニ當テ労働者ノ間ヲ能ク了解シテ居リマスカラ、之ヲ能ク御話ヲシ、又質問モイタシマスレバ、法案ニ付テ穩當ナルモノガ出來、適用ノ場合ニ運用ガ餘程圓ク、圓滿ニ參リマセウト云フコトカラ、申シテ居ルノデアリマスガ、其邊ノコトヲ能ク御考ヘ下サイマシテ、御差支ナイ限りハ、ドウ云フコトデアルト云フコトヲ、一ツハキリ茲デ御明言シテ下サイ、其邊ガ確カデナイ、武井男爵ノ御尋ネモ其邊ガドウ云フコトニナルカト云フコトガ、勅令ニ依テ……斯ウ云フコトデアル、其他微細ノコトニ付テハ、何レ其時ノ模様ニ依テ又斟酌スルコトデアラウガ、大體斯ウ云フコトニ依テ豫算ヲ定メテ行ク、斯ウ云フコトデアリマスレバ、甚ダ安心スル譯デスガ……

○政府委員(男爵四條隆英君) 只今マデ度々申上ゲマシタヤウニ、當局ノ考トシマシテハ、前ニ申シマシタヤウナコトデ、能ク御了解下スタコトト思フノデアリマスガ、何分労働者ト事業主ノ間ヲ、ナルベク紛議等ノ起ラスヤウニ、十分圓滿ニ産業ノ發達ニ貢獻シ得ルヤウニ、斯様ナ制度ヲ必要ト認メテ居ルノデゴザイマスカラ、唯今續々述ベマシタヤウナ、先ヅ御心配ノ點ハ餘リ偉イコトモナカラウト、私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員外議員(男爵東郷安君) 私ハ第三十一條ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマスガ、組合ヲ設立スルノニ、場合ニ依テ強制命令ヲ用ヒル事ガ規定サレテ

居リマスガ、餘リソレガ效能ガナイ様ナ、四圍ノ狀況デアリ
マス場合ニ於テハ、大體員令御述ベニナリマシタ御趣意ニ依
リマシテ、各事業主ト能ク御協議ニナリマシテ、之ガ實行ヲ
ナサルト思ハレルノデアリマスガ、果シテ如何デアリマスガ
○政府委員(男爵四條隆英君) 御答へ申上ゲマスルガ、此
保險法ニ於キマシテ、保險組合ト云フモノヲ認メマシテ、サ
ウシテ其運用ヲ圓滑ニシテ行カウト云フ趣旨ハ、度々申上
ゲマシタヤウニ、ナルベク事業主ト從業者トガ互ニ相戒メ
テ、ナルベク假病ノ弊害ニ陥ルコトモナク又事業ヲ怠ケル
ヤウナコトモナイヤウニ、自治的ニ、相互的ニ、互ニ相戒メ
テ行カウト云フ趣旨ガ、斯様ナ制度ヲ認メマシタ骨子デゴ
ザイマスカラ、勿論當局トイタシマシテモ、斯ウ云フコトハ
自ラ事業主ガ自發的ニ、設置ヲ申請シテ來ルト云フコトヲ、
深ク希望シテ居ル次第デゴザイマス、又恐ラク事業主ノ方
トシテモ、斯様ニシテ行ク方ガ、保險ヲ運用シテ行キマスル
上ニ於テ、保險料ノ負擔ノ輕減ヲ圖ル上ニ於テモ、亦事故發
生ヲ防ギマス上ニ於テモ、餘程都合ガ宜イコトヲ思フノデ
アリマス、故ニ斯様ナコトハ必ズヤ多クノ場合ニ於テ、自發
的ニ進シテ居ラレルヲラウツ思フノデアリマス、又現ニ相
當ノ仕事ノ基礎ノ上ニ、立ッテ居リマス所ノ工場ニイタシ
マシテモ、鑛山ニイタシマシテモ、從來相當ノ共濟組合ノ如
キモノヲ設ケテ、運用シテ居ラレルノデアリマスカラ、之ガ
タメニ非常ニ煩シイト云フヤウナコトモ、ナカラウト思ヒ
マス、併ナガラ一面ニ十分ソレ等ノ運用ガ出來テ行クコト
ガ可能デアレバ、且ツ又組合ヲ設ケテ運用シテ行クコト云
フコトハ、相互ノタメニ都合ガ宜イコト云フ場合ニモ拘ラズ、ド
ウモ其當初ノ中ニ於テハ、或ハドウモ斯ウ云フコトヲ實行
シテ行クノガ、面倒ダト云フヤウナ風ニ誤解サレテ居ラス
トモ眼ヲスノデアリマス、又斯様ナ設置ヲナシ得ルヤウナ、
規定ヲ設ケテ居ルノデゴザイマスケレドモ、勿論之ヲ實行
運用シテ行キマス上ニ於テハ、相當ノ注意ナリ、或ハ協議ナ
リヲシテ、ナルベクサウ云フ風ニシテ行キタイ、斯ウ云フヤ
ウニ考ヘル次第デアリマス、大體斯ウ云フモノヲ認メマシ
タ所以ノモノハ、成ルベク此法案ノ運用ヲシテ圓滑ニ、而シ
テ事業主並ニ從業者ノ相互ノ利益ノタメニ、ヤッテ行キタイ
ト云フ趣意デアリマスカラ、先ヅ當局トシテハ大體左様ニ
考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 然ラバ速記ヲ止メマシテ懇談
會ニ移リマス

〔速記中止〕

○委員長(子爵片桐貞央君) ソレデハ懇談會ハ之デ閉デマ
シテ質問ニ移リマス

○江木翼君 私ハ此場合、委員ノ多分多クノ方ノ御意見デ
アラウト察シマスルシ、且委員外ノ方モ質問ニ加ハリマシ
タカラシテ、是等ノ方ノ意見ヲモ或ハ代表スルト云フ意味
合ニナラウカト思ヒマスル故ニ、事柄ガ頗ル重要ノ事柄デ
アルト信ジマスル故ニ、此際農商務大臣ノ御言明ヲ得テ置
キタイト思フノデアリマス、事項ハ凡ソ五六箇條ニ亘ッテ居
リマスルガ、其中重要ナルモノヨリ順次申上ゲテ見タイ、第
一ニ本法案ハ誠ニ骨子デケラ定メタモノデアリマシテ、其
細目ニ亘リマシテハ、勅令、命令其他ノ命令ニ讓ルコトニナ
ッテ居ルノデアリマス、從ヒテ命令以下ノ制定云フモノノ本統
ノ綱領ヲバ見マスルニハ、勅令以下ノ制定云フモノノ本統
部完成スルニアラズンバ、其綱領ガ分ラヌコトニナッテ居ル
ノデアリマス、殊ニ其中デモ最重要ナルモノハ第三條ニ
定メテアリマス所ノ標準報酬ニ關スル事項ハ、勅令ヲ以テ
之ヲ定ムト云フヤウナ如キコトガ、總テノ保險料ノ算定、保
險給付ノ算定等總テノコトノ基礎ニナッテ居リマスガ故ニ、
最モ大切ナ條項デアリマス、斯ノ如キコトヲ定メラルルニ
當リマシテハ、事ニ實際ニ當ッテ居リマス所ノ事業家、殊
ニ工業並ニ鑛山業等ニ從事シテ居ラレル所ノ、澤山ノ使傭
人ヲ使ッテ居ラレル所ノ、人ノ意見モ斟酌セラルルト云フ必
要ガアルト思フノデアリマス、付キマシテ第三條ガ勅令、其
他本法ノ勅令若クハ命令ヲ以テ定ムトアリマス所ノ事項
ハ、總テ現ニ存シテ居リマス所ノ健康保險調查委員會ニ御
諮問ニナリマスコトハ、素ヨリノコトト思ヒマスガ、此委員
會ニ更ニ當業者ヲ多數御加ヘニナッテ、御諮問ニナルト云フ
ヤウナ運ビニ是非ナリタイト思フノデアリマスガ、農商務
大臣ハ果シテ其意思ヲ持ッテ居ラレルノデアリマセウカ、確
ナル御回答ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス、此點ヲ先
ヅ第一ニ農商務大臣ニ承リタイ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 標準報酬ニ關スル如キモノ
ハ、尤モ此當業者ノ意見モ聽取シナケレバナラスコトデア
リマスカラシテ、サウ云フコトニ付キマシテハ、尙ホ實際ニ
關係ノアル其實際家ヲ尙ホ臨時ニソレニ加ヘルコトニシ
テ、サウシテ定メルコトニ致シマス

○江木翼君 尙ホ其點ニ付マシテ、念ノ爲メモウ一遍確メ
テ置キマスガ、私ガ只今申述ベマシタ事ハ、第三條ノ標準報
酬ヲ定メラレルコトバカリデナシニ、本法ノ施行ニ關シテ
必要デアリマス所ノ勅令、命令等、總テ之ヲ御制定ニナルニ
付キマシテハ、事業家ノ意見ヲ徵サレル必要ガアラウト思
ヒマスノデ、其點ニ對シテ左様ニナサルカ、如何ト云フ點
ヲ念ヲ押シテ置キタイノデアリマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御質問ノ通りニ矢張之ニ關
聯シテアリマス事ニ付マシテハ、ソレト關係ノ人ヲ委員
會ニ加ヘマシテ、サウシテ意見ヲ聞イテ、然ル後ニスルコト
ニ致ス積リデゴザイマス

○江木翼君 第二段ニ御尋ネラ致シタイト思フ點ハ、本案
第三十條ニ於キマシテ、主務大臣ハ五百人以上ヲ使用シテ
居リマス所ノ事業主ニ對シテハ、保險組合ノ成立ヲ命ズル
コトガ出來ルコトニナッテ居ルノデアリマス、即チ強制保險
ヲ作ラシメルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、果シテ此強
制シヤウト云フ者ガ、無遠慮ニ實行サレマス……場合ニ依
テハ、隨分事業家ノ方ニ於テモ事ノ不意ニ出デ、或ハ十分ノ
手筈ガ揃ッテ居ラスト云フコトノ結果、狼狽スルト云フコ
トモ起ルデアアラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此命令
ヲ出シマスルコト云フコトニ付キマシテハ、十分事業家ト協調
ノ精神ヲ以テ、能ク調和ヲ取ラレテ、打合セラサレタ上デ、
此命令ヲ發セラレルヤウニ致シタイト思フノデアリマスル
ガ、此點ニ對シテ農商務大臣ハ左様ナ扱ヒニサレルモノデ
アルト云フ御聲明ガ出來ルデアリマセウカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御意見ノ事ハ、至極御尤モ
デゴザイマスカラ、斯ノ如ク必要ナル事ハ初メテノ事デア
リマスカラシテ、成タケ無理ノ往カナイヤウニ其邊ニ付キ
マシテハ、豫メソレヲ施行イタシマスル事業主トモ相談ヲ
致シマシテ、サウシテ餘リ無理ノ往カヌ程度ニ於テナス
云フ積リデ、要スルニ強要ハ成ルタケ慎ミタイト云フ積リ
デアリマス

○江木翼君 次ニ第三ニ御尋ネラ致シマスル點ハ、國庫負
擔ノ割合デゴザイマス、本案ニ依リマスレバ保險給付ニ要
シマスル費用ノ十分ノ一デケラ、國庫ニ於テ負擔スルト云
フコトニナッテ居ルノデアリマス、去リナガラ之ヲ歐羅巴ノ
例等ニ照ラシテ見マシテ、例ヘバ英吉利ガ之ヲ當初ニ行ヒ
マシタ所ノ例ナドニ比ベテ見マス、少シク低キニ失スル
ヤウニ思フノデアリマス、元來此疾病ニ對シマシテハ、成ル
ベク其疾病ノ甚シカラザル者、或ハ負傷ヲ致シマスル者ガ
アリマス、其負擔ヲ致シマシタ當初ニ於テ治療手當ヲ取
ラスルト云フコトハ、社會全般ノ健康ヲ保持スル上ニ於テ、
頗ル必要ノコトデアリマス、未ダ負傷烈シカラザル前ニ於

テ、社會全般ノ手當ヲ試ミルニ於テハ、其疾病ト云フモノハ、甚シク蔓延ニ至ラヌト云フヤウナ性質ノモノデアリマ
ス故ニ、疾病ニ對シテ國家ガ之ヲ手當スル責任ヲ持ッテ居
ルコトハ、申スマデモナイコトナデアリマス、隨ヒマ
シテ労働者、其他ノ者ノ疾病ヲ、社會ガ或ル負擔ヲスル
ガ治療ヲ圖ルコト云フコトニ付テ、社會ガ或ル負擔ヲス
ルコトハ、蓋シ今日ノ社會政策ノ上カラ申シマスレバ當
然ノコトト思ヒマス、而シテ本案十分ノ一ト云フ率ハ、如
何ニモ低キヤウニ思フノデアリマス、之ヲモウ少シ高ク致
シマスレバ、隨テ労働者ノ負擔モ輕クナリ、或ハ事業主ノ負
擔ト云フモノモ輕クナルト云フ結果ニナルト思ヒマス、種
種疾病防護ノ效果ヲ學ゲルト云フコトガ十分ニアルト思
フデアリマス、付キマシテハ政府ニ於テハ成ルベク此國庫
負擔ノ額ヲ増加セラレヤウニ、少シ其率ノ十分ノ一ヲ、或
ハ十分ノ一「コンマ」二トナシ、或ハ十分ノ一「コンマ」三
トナシ、或ハ十分ノ一「コンマ」五トナスト云フ風ニ、漸次御
力ヲ仰ギタイト思フノデアリマスガ、政府ハ左様ナ御考
ヘヲ持ッテ居ラレマスカ、如何デアリマスカ、其點ヲ伺ヒマ
ス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 其點ニ付キマシテモ御同感
デゴザイマス、此度モ成ルベクサウ云フコトニ於キマシテ、
少シツ餘計政府ガ出シ得ル途方アルナラバト思ヒマシ
テ、色々農商務トシテハ努メタノデアリマスガ、何シロ最初
ノ事デアリマスシ、又一割ト見マシテモ、相當ナル金額ニ上
ボルコトデアリマスカラシテ、先ヅ最初ニ於テハ此位ノ程
度ニ於テ我慢ラシテ、ツレデ實行シテ追々是ガ整理シタ上
ニ於テ、又政府ノ財政ノ許ス上ニ於テ、漸次ニ進メテ行キ
タ
イト云フ考ヘデアリマス

○江木翼君 次ニ伺ヒクイト思ヒマス點ハ、本案ノ目的ト
ナッテ居リマス所ハ、工業、鑛山ノ労働者全般ニ涉ルモノデ
アリマシテ、其數ニ致シマス、漸ク百八十万カ、二百万ニ
止マルモノデアラウト思フノデアリマス、成程社會ニ相當
有用ナル能力ヲ持ッテ居リマスル部分デハゴザイマスガ併
ナガラ六千万ノ國民ニ比ベマスレバ、極メテ僅カノ部分デ
アリマス、併ナガラ健康ノ保持ヲ貴ボベキモノハ、必ズシモ
是等ノ二百万ノ労働者ニ限ルベキモノデアリマス、自分ノ報酬ヲ
以テ十分ニ保持スルコトガ出來ナイ者ハ、他ニモマダ多
アルノデゴザイマス、例ヘバ小學校教員ノ下級ノモノデア
ルトカ、或ハ巡查デアリマス、或ハ商店、商館等ノ下種
小僧ノ如キ、少額ノ報酬ヲ持ッテ居リマシテ、其報酬ヲ以テ
シテハナガナ自分ノ健康ニ付テ、注意スルコトノ出來ナ
イ者ガ多クアルノデアリマス、出來得ベクンバ廣ク此健
康保險ノ性質ヲ社會保險トシテ、苟モ薄給ニシテ自分ノ

報酬ゲケデハナカナ自分ノ健康ヲ……身ヲ護ルコトノ出
來ナイヤウナ者ニ及ボシタイモノデゴザイマスルガ、政府
ニ於テモ定メシ同ジ意見ヲ持ッテ居ラレコトデアラウト
思ヒマスルガ、果シテ私共ノ考ヘテ居リマスル如ク、本健康
保險ノ範圍ヲ漸次擴張シテ、社會保險ノモノニセラレ
ル意思ガアルデゴザイマセウカ、此點ヲ承リタイ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 其點ニ付キマシテモ、御同
感デゴザイマシテ、何シロ調ベガ色々狂ヒマス云フト餘
程困難ニナリマスルカラシテ、今工業法ノ行ハレテ居リマ
スル其範圍ニ於テ先ヅ調ベ付クモノヨリ追々始メテ行カ
ウト云フコトデ、此度鑛山、鑛業ニ付テ始メタノデアリマ
シテ、尙ホ段々秩序ガ立ツニ從テ之ヲ致シタイ考デアリマ
ス

○江木翼君 次ニ御尋イタシタイ點ハ、本案ニ依リマシ
テハ、此健康ニ關シマシテ非常ニ重要ナモノガ落チテ居
ルデアリマス、即チ癩疾ニ關シマスル保險ト云フモノガ本
保險ニ含マレテ居ラヌノデアリマス、精シク申シマスレバ
百八十万カノ病者或ハ傷者ト云フヤウナモノハ本保險ニ
包含サレラヌデアリマスルケドモ、百八十万カノ超エマシ
タル所ノ病者傷者ニ付キマシテハ、本保險ハ無論アリマス、
去リナガラ百八十万カノ超エマシタル病者傷者ニ限リ、其職
務ノ……職業的ノ傷病ニ屬シタル病者ハ工業主ノ負擔ニ
屬シテ居リマシテ、幾分之ヲ補フテ居ルコト思フノデアリ
マスガ、職業的ニ非ザル所ノ傷病ニ付キマシテハ、丸切リ救濟
ガ無イノデゴザイマス、然レニ百八十万カノ超エマシタル所
ノ癩疾ニ付キマシテハ、然レニ百八十万カノ超エマシタル所
ニ、其率ハ甚ダ低イモノデアリマス、千人ニ付テ僅ニ三人ト
カ五人トカ云フ位ノ割合ノモノデアリマシテ、而シテ疾病
ニ付キマシテハ肺結核トカ云フガ如キ、慢性ノ病氣デア
ル癩疾ニ付キマシテハ、職業的ノ癩疾ニ屬スルモノハ極
メテ少ナイノデアリマス、若シ癩疾ニ對スル保險ガ出來マ
スル場合ニ於テハ、職業的ノモノモ、職業的ニ非ザルモノモ
含メテ之ヲ實行セラルルニ致シマシテモ大イナル負擔ヲ國
庫、事業主、或ハ労働者ニ及ボスベキモノデアリナシ斷ジテ
イト私ハ信ズルノデゴザイマス、付キマシテ此癩疾ニ關シ
マスル所ノ保險ヲモ成ルベク早イ機會ニ於テ實行セラレタ
イト希望スル次第デゴザイマスルガ、政府ニ於テモ同ジ希
望ヲ以テ居ラレラノデゴザイマセウカ、此點ヲ確メタイ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御説ノ通りデゴザイマシ
テ癩疾ニ屬スベキモノハ、殊ニ人道ノ上カラモ大イニ助ケテ
保險ヲナスコト云フコトハ必要ト思フノデアリマスガ、先ヅ
此度ノハ全ク癩疾ナドニ用ニマスト云フト、極ク長イ間ノ
年限ヲ要スルコトデアリマスシ、又ツレガ直チニ産業ニ酷
ク影響ヲ及ボスト云フ事柄デアリマセウカラシテ、今度ノ

モノニ付キマシテハ、先ヅ此健康保險ヲバ六箇月ノ間ノモ
ノニ限ッテ置キマシテ、サウシテ大イニ産業上ニ於ケル力ヲ
成シテ行キタイ、續キマシテ今申ス如キコトニハ、ドウシテ
モ斯ウ云フコトヲ社會ニ付テ、私ハ國家ガソレヲ助ケテ行
クト云フコトハ必要デアリマスルカラシテ、時間ヲ見計ラ
ヒマシテ、其保險ニ追々及ボシテ行キタイト云フ考デゴザ
イマス

○江木翼君 次ニ是ハ農商務大臣トシテ御尋イタシマスヨ
リ、國務大臣トシテ御尋ヲ致シテ見タイト思ヒマスルガ、海
員ニ關スル、即チ船舶ノ事業ニ從事シテ居リマスル所ノ船
員、海員ニ關シマスル健康保險ノ案ハ、既ニ遞信省ニ於
テ御立案ニナリマシテ、本會期ニハ或ハ提出セラレンカト、
豫想サレタノデゴザイマスルガ、少シ遅レタ趣キデゴザイ
マスルガ、定メシ近キ議會ニ於テ御立案御提出ニナルベキ
コトト信ジマスルガ、果シテ左様デゴザイマセウカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御話ノ如ク、遞信省ニ於キ
マシテモ、海員保險ヲバ成ルベク、此際ニ提出イタシタイ
ト云フ考ヘデアリマシテ、色々相談モアリマシタコトデア
リマスガ、ドウモ其間ニ付キマシテ、此度農商務ヨリ提出イ
タシマシタル本案ト、多少喰違ヒハ生スルヤウナ虞ガア
リマスシ、色々其方面ノ相談モシテ居リマシタケドモ、何
分モ會議ノ期日モ切迫シテ居リマスルカラシテ、十分ナ
ル調査ガ屆キマセズシテ、遺憾ナガラ次ノ議會マデ延ブル
ト云フコトニ、大體ナッテ居ルノデアリマス

○江木翼君 大體以上六項ニ亙リマシテ御尋シマシタル事
ハ、略々我々多クノ委員、並ニ委員外ノ方ノ御質問等ニ依リ
マシテ、察シマシタ御意見ト、農商務大臣ガ持ッテ居ラレ
マス御意見ト、全然一致シマスル様ニ思フノデゴザイマス
ガ、尙ホ甚ダ立入ッタコトデゴザイマスルガ、モウ一ツ……
此第一段ニ述ベマシタ、而シテ餘程大事ナ事デゴザイマス
ルデモウ一ツ立入ッテ御同ヲ致シテ置キタイト思フノデゴ
ザイマス、即チ勅令、省令其他ノ命令ヲ發セラレマスルニ付
キマシテ、當業者ニ意見ヲ徵セラレルト云フコトニ付キマス
シテ、現在ノ調査會ニ委員ヲ御増員ニナリマスルコト云フ
コトニ付テハ、農商務大臣ノ御意見ノアル所ハ承リマシタ
ノデゴザイマスルガ、是等ノ委員ヲ選定セラレルニ付キマ
シテ、或ハ現ニ民間ニ工業會デアルトカ、或ハ工業俱樂部デ
アルトカ云フガ如キ、工業者等ノ團體ガ出來テ居リマスル
ウニ思フノデゴザイマスガ、是等ヲ御選定ニナルニ付キマ
シテハ、或ハ自然是等ノ機關ニ御諮問ニナル而シテ其代表
的ノ委員ヲ御選ビニナルト云フコトガ、適當デハアルマイ
カト思フノデアリマスガ、是等ニ關シテ農商務大臣ハ如何
ナル御意見ヲ御持チニナリマスカ、此際念ノ爲ニ承リタイ

ノデアリマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此度ノ調査委員ノ規則ニ於
キマシテハ、亦物ニ依リマシテ、ソレニ事實關係シテ居ルガ
如キ人ヲ委員ノ中ニ加ヘテ、サウシテ意見ヲ徵スルト云フ
ヤウナコトガアルコトト考ヘマシテ、臨時委員ヲ設ケルコ
トニシテ此專門ノ人ニ聞イタラバ宜カラウ、此問題ニ付テ
ハ、此方面ノ人ヲ委員ニ選定シタラ宜カラウ、ト云フヤウナ
コトニ付テ、ユトリヲ付ケテアル次第デアリマスカラ、矢張
其問題方起リマシテ、サウシテ其關係ノ人ヲ委員ニ臨時ニ
選定スル、斯ウ云フコトニシタイト思ヒマス、或ハ工業ニ
關シマシテ、工業團體ニ相談シテ行クト云フヤウナコト
モ起リマセウ、又物ニ依リマシテハ、工業團體ニアラザルモ
ノト雖モ、政府ガ是ナラバ宜カラウト云フコトニ付テ、孰レ
トモ適切ナル途ニ於テ、委員ヲ選定シタイ考デアリマス

○男爵平野長祥君 先程江木君ノ六段ニ分ケテノ御尋ガア
リマシタ、其六段ニ關係シテ、私モ一種ノ希望ヲ發スルテ政府
ノ御意思ノアル所ヲ、確メテ置キタイト思フデ居リマス、先
程ノ六段目ニ江木君カラモ、御確メデアリマシタ、逓信省側
ニ於テ船員ノ保險法案ヲ御出シシナルコト云フ所ガ、御都合
ガアツテ本議會ニハ御提出ニナラカッタ、就キマシテ私ハ
此ノ一般漁業者ノ立場カラ、一種ノ希望ヲ持ッテ居リマス、
其希望ヲ述ベテ、政府ノ御意思ヲ確メテ置キタイト思フデ居
ルノデアリマス、私ノ親ヒ知ル所ノ範圍ニ於キマシテハ、逓
信省ガ提案ヲサレル所ノ、又將來ニ漁業者ヲ海員ノ部類ニ
包含シテ、何等カノ規定ヲサレルコトト思フデ居リマス、然
ルニ私ノ知リマス所デハ、逓信省ニ於テハ二十噸以上ノ船
ニ乗込ム所ノ船員、兼漁業者ト申シマス、此漁業者ハ多ク
或ル時ハ船員トナリ、或時ハ漁業者タル立場ニアル者ガ多
イノデアリマス、サウ云フ具合デ、逓信省ノ方ノ立案サル
所ノモノニハ二十噸以上ノモノト限ラレル様デアリマシテ、
其ノ二十噸以下ノモノハ、殆ド顧ミラレヌ事ニナルノデア
リマス、前會ニモ私ハ政府委員ニ御尋ラ致シマシテ、本案第
十四條ニ「前各號ニ掲ケルモノノ外、勅令ヲ以テ指定スル事
業」此中ニ何ガ包括サレテ、救済スル考ヲ持ッテ居ルノデア
ルト云フ風ヲ御答辯ヲ得テ居リマスガ、前中上ガマシタ二
十噸以下ノ船ニ乗込ム所ノ漁業者、即チ船員ナルモノハ、全
國ヲ通ジテ二十噸以上ノ船ニ乗込ム所ノ者ヨリ、餘程數ガ
多ウゴザイマス、其數ノ多キモノ、何等カ救済スル途方無
イト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思ヒマス、何卒此案ノ第十四條
ノ八號ニ掲ゲラレテアル所ノ規定ニ於テ、確ニ是等ノ多數
ノ者ヲ此指定スル事業ト云フコトニ包括サルコトヲ、偏
ニ希望スルノデアリマス、農商務大臣ノ御意向ハ如何デア

リマセウカ、其點ヲ確メテ置キタイト私ハ思ヒマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 今度逓信省ガ保險ノ案ヲ提
出スルコトガ後レマシテ、十分ナル成案トナラナカッタコト
モ、矢張り一部ニハ今御質問ノ如キコトガアルノデアリマ
ス、農商務省ノ水産ノ方カラ申シマス云フコト、二十噸以上
ノモノヨリモ二十噸以下ノ漁船ガ、殆ド二ノ艘以上モアル
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナルコトニ付テ、矢張之ヲ愈々
海員ヲ保護スルコト云フコトニナリマス、矢張是ハ何等
カノ途ニ於テ、均一スル途ヲ執リマセヌト、唯二十噸以上ノ
漁船ニ乗ル者ハ保險ヲサレテ、其以下ノ者ハ何モサレナイ、
而シテ實際ハドウカト云フト、其以下ニアル者ノ方ニ必要
ヲ生ズルト云フヤウナコトガ、却テアルノデアリマスカラ
シテ、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテモ、此後ニ起リマス
ル其保險案ニ付キマシテハ、何トカ其邊ニ付テモ、均一ヲサ
レルヤウナ途ヲ執リタイト云フ考デアリマス

○北里柴三郎君 先刻來江木君カラノ質問ニ對シテ、農商
務大臣ノ御辯明ガアリマシタノデゴザイマスガ、此事ヲ此
委員會決議案ト致シマシテ、サウシテ此希望決議ニシテ置
キマシテ、サウシテモウ大分時間モ經チマス、十分御議論
モアツテ思ヒマス、此案ヲ是デ決議シテ仕舞フト云フ
コトノ動議ヲ出シマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 如何デアザイマス

○北里柴三郎君 就キマシテハ其希望決議ノ案ハ、委員長
ニ御託申シタルウゴザイマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 今北里君カラ、御議論モ大概
濟ンダヤウデアアルカラシテ、此際之ヲ決定シテハ如何ト云
フ御意見ガ出マシタガ如何デアザイマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 皆サン御異議ガゴザイマセヌ
ケレバ、委員會ノ希望決議ト致シマシテ差支ゴザイマセヌ
カ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵片桐貞央君) 然ラバ左様致シマス、ソレデ
ハ此案ハ全體可決トシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵片桐貞央君) 然ラバ左様取計ラヒマス、可
決ト云フコトニ決定致シマシタ

午後四時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長	子爵片桐貞央君
副委員長	江木
委員	北里 柴三郎君
	男爵武井 守正君
	上山 滿之進君
	男爵平野 長祥君
	男爵福原 俊丸君
	金杉 英五郎君
	横山 章君
委員外議員	麻生 太吉君
	藤本 閑作君
	男爵東郷 安君
國務大臣	男爵山本 達雄君
農商務大臣	男爵四條 隆英君
農商務省工務局長	桂之助君
農商務書記官	

大正十一年四月八日印刷

大正十一年四月十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局